

# 後継者育成事業

## 奈良伝統工芸後継者育成研修について

奈良伝統工芸の後継者を育成・支援することにより、その技術・技法を後世に伝承することを目的として2006年から始めました。現在の奈良伝統工芸後継者育成研修（第6期）は2021年10月から開催しております。

また、研修修了生（一刀彫・赤膚焼・奈良漆器・奈良団扇）については、公募展等で入賞し、相当の成果をあげています。

### 研修内容

- ・工房主が行う基本的な指導
- ・なら工藝館において行う技術的な自己研修
- ・なら工藝館で開催される各種催しへの参加

研修期間は3年ですが、一年ごとに研修生からの作品の提示を受け、更新するかどうか審査が行われます。

### 第6期研修者

研修者	研修科目	工房主
阪本 小雪	奈良一刀彫	東田 茂一
北浦 雄大	奈良漆器	山本 哲
大塩 ほさな	赤膚焼	大塩 正

Sakamoto Koyuki

## 阪本 小雪

1987年 生まれ

2007年 日本美容専門学校 通信課 卒業  
2010年 早稲田大学 教育学部 国語国文学科 卒業  
2018年 奈良一刀彫作家 東田茂一氏に師事

### 自己紹介

生まれ育ちは東京都ですが、中学校の修学旅行をきっかけに奈良に夢中になり、奈良で暮らしたいと憧れ続けた末、4年程前に移住してきました。

奈良の奥深い魅力を構成するさまざまな要素のうちのひとつを、人生を懸けて担うことで、奈良の伝統文化を後世に繋げる一助になりたいと一念発起し、奈良一刀彫の作り手を志し、工芸の世界に飛び込みました。

### 研修計画（研修期間【3年間】での抱負）

約900年の歴史をもつといわれる奈良一刀彫には、いくつもの伝統的なモチーフがあることを学びました。能・狂言や舞楽などの人形、鹿、根付、香合、干支人形、節句人形など、奈良一刀彫の代表的な題材全てについて、技術や技法、歴史文化的背景も含めて後世に継承するべく、尊敬をもって習得し生業としていくことが、本研修修了後も含めた大きな目標です。

さらに、現代において活躍しておられる諸先生方の表現や独自の作品からも学び、自らの創作の表現を深めていくことで、奈良一刀彫全体のさらなる発展に寄与していける人材になることを目指します。

Kitaura Yudai

## 北浦 雄大

1994年 生まれ



2018年 京都市立芸術大学 美術学部  
工芸科 漆工専攻 卒業  
2020年 京都市立芸術大学 大学院  
美術研究科 修士課程 工芸専攻(漆工) 卒業

### 自己紹介

大学2年生から漆を専攻し、3・4年生では主に他素材と漆をどう組み合わせられるか、漆である必要性などを常に考えながら作品を作ってきました。大学院からは、縄文と漆の関係に着目し、現代に続く日本の自然への信仰、生命、精神や神社仏閣に見られる造詣から着想を得て、作品制作に取り組んでいます。

### 研修計画（研修期間【3年間】での抱負）

大学では、漆という素材と向き合いながら、主に立体作品を制作していました。奈良漆器の厚みをダイナミックに加飾する技術に惹かれ、今までで学んだ技術と結びつけて新たな表現を見つけて行きたいと考えています。

また、今までにコミッションワークとしてお寺さんが所蔵されている掛け軸の絵を漆で立体化し、作品を作らせて頂く機会がありました。その時の経験を生かし、奈良漆器で主に扱われる技術を勉強し、その技術で何か奈良の歴史に由来する物をモチーフにオマージュ漆作品（グッズ）なども制作したいと考えています。（今は亀石の形をした香合を作りたいと思っています。）

Oshio Hosana

## 大塩 ほさな

1994年 生まれ



2012年 檀原学院高等学校 美術科 卒業  
2014年 奈良芸術短期大学 クラフト(工芸)デザインコース 卒業  
2015年 京都府立陶工高等技術専門学校 図案科 卒業  
2017年 地方独立行政法人 京都市産業技術研究所  
伝統産業技術後継者育成研修 陶磁器コース 修了

### 自己紹介

大学卒業後から本格的に陶芸を始めました。もともと細かい作業が好きで、絵付けを学んでみると、線を引く、絵具を盛るなどの一つ一つの工程がとても楽しく、陶工高等技術専門学校卒業後からは、主に絵付けを行っています。

### 研修計画（研修期間【3年間】での抱負）

この研修では、私の苦手分野である成形・窯たき・釉かけなども習得できればと思っています。今までは、ほとんど成形をしてこなかったので、質問を受けても答えられなかったり、うまく教えることができない時があり、自分の制作ではなかなか思うようにいかないこともありました。

現在は小さめの食器などは作れますが、大きなものやロクロでの制作がとくに苦手なので、これからは大きな作品も作れるように技術を習得したいです。絵付も、より技術が向上するように努力していきます。発表活動については、公募展などにも出品できればと考えています。